

「登山指導スキルアップキャンプ」

★事業の概要★

事業のねらい

登山の魅力を感じながら、登山指導における基本的な知識・技能を学び、安全な登山活動を実施できるよう指導者としてのスキルアップを図る。

期 日

平成23年6月18日（土）～19日（日） <1泊2日>

会 場

国立大雪青少年交流の家
十勝岳

対 象 者

地域で登山の指導者を目指している方、青少年教育施設職員、学校教職員、特に学校で登山およびハイキングの体験活動を計画している教職員など

参加者数：参加募集人数

16名（参加者内訳：教員6人、大学生2人、教育関係者5人、一般3名）：20名

講 師

戸 高 雅 史 氏（野外学校 Feel Our Soul 主宰）
内 藤 美 佐 雄 氏（美瑛山岳会）
国立大雪青少年交流の家職員

日 程

| | 〈午 前〉 | | 〈午 後〉 | | | 〈夜〉 | | | |
|-------------|-------|------------------------------------|-------|-----|------------------------|---|----|--|-----------------------------------|
| 6/18 (土) | | | 受付 | 開講式 | プログラム 講演「登山 の魅力」 | プログラム 講義演習1 「指導者のリ スクマネジメ ント」 | 夕食 | プログラム 講義演習2「学校登山 における事前指導につ いて」 | プログラム グループワーク「安全な 登山指導を考える」 |
| 6/19 (日) | 朝食 | プログラム「登山指導」 (交流の家～望岳台～避難小屋～望岳台) | | | プロ グラ ム 「まとめ」 | 閉 講 式 | | 解 散 | |

★プログラム紹介★



講演 登山の魅力

講師に野外学校 FeelOurSoul 主宰の戸高雅史氏を招き、自身の体験をもとにした登山の魅力をお話ししていただいた。



講義・演習1 指導者のリスクマネジメント

「登山に関する手引き」をテキストにして、登山に必要な隊列や無線で交信すべき内容について学んだ。



講義・演習2 学校登山における事前指導について

講師に美瑛山岳会の内藤美佐雄氏を招き、十勝岳周辺の事故例をもとにしながら、登山に関する安全管理について学んだ。



グループワーク 安全な登山指導を考える

登山途中の写真を使って、起こりうるリスクを考え、それに対する対処法をグループで話し合った。



実習 登山指導

戸高氏を講師として、実際に十勝岳の登山コースを歩き、山の自然の魅力を存分に感じながら、登山指導に関する知識を習得した。



まとめ

参加者が登山の魅力や安全性について感じたことを発表し合い、登山指導での要点を整理した。

企画・運営のポイント

- ① 近年の登山事故を鑑み、交流の家で作成した「登山に関する手引き」をテキストとして、登山の基礎的な知識や技術について学ぶ時間を確保した。
- ② 学校登山のように、児童生徒を引率して登山をする際に起こりうるリスクに焦点を当ててプログラムを組み立てた。
- ③ 登山の楽しみ方と安全管理、両方の視点から考えられるようプログラムを組み立てた。
- ④ ハイキングを実施する場合にも役に立つよう、登山指導の一部にハイキングコースを組み入れた。

事業を終えて(成果と課題)

- ① 十勝岳周辺の事故例を紹介することで、コースに潜むリスクについて再認識し、その対策について考えることができた。
- ② 「登山の魅力を参加者自身が感じる」というねらいで、講演や登山の実習をプログラムした結果、参加者はそれぞれの視点で、山の自然のすばらしさを感じる事ができた。
- ③ 教職員の参加が少なかったことから、内容や広報の方法などを見直し、より多くの参加が見込めるように工夫する必要がある。

今後の方向性

「登山に関する手引き」を、青少年教育施設や教育関係機関及び学校において積極的に活用してもらうようはたらきかけ、登山活動における安全管理について徹底を図る。